

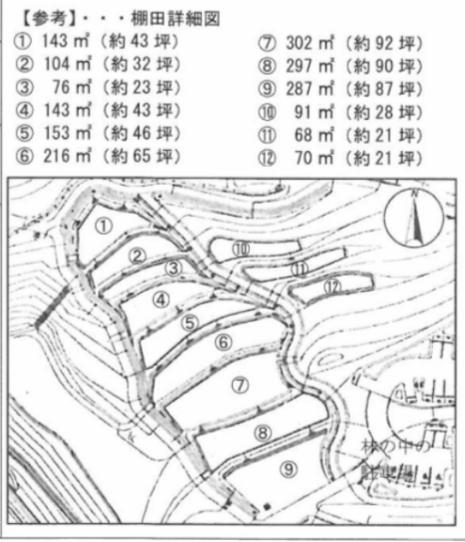
持込み型プログラム(郷の棚田プログラム) 審査

受付	グループ名	企画名	企画の概要	募集条件					確認事項							審議会 審議結果	審議会 再審議
				理念との整合 ①景観や環境を大切に ②みんなで作る ③地域の活性化につながる	営利を目的としない	一般参加ができる	自主的な活動ができる 2人以上のグループ	関係機関協議 火気:消防署 食品:保健所 保険の付加	管理ルールへの影響	パーククラブからの支援の必要性	材料費の妥当性 実施経費が含まれないか	関係機関協議 (火気使用) (食品提供) ※上記2項目の事前 協議・承認状況 保険の付加	安全性 (機械使用)など	実施日の調整 他のイベントとの連携	公園資源の利用		
1 新規	B&K	はじめての綿づくり	泉州地域では、綿作りが盛んに行われていたが、近年全く作られていません。よって見た事の無い人が多い様に思われます。まずは、実際に育て、綿花が出来る過程からたどっていき、「綿の材料ってこういう植物だったのか」ということを知ってもらいたい	理念と整合	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-		
2 新規	認定NPO法人 緑の地球ネットワーク	懐かしい花と作物	昔は普通にだったけれども、最近みなくなった花や作物もあります。その中には、丈夫で花が美しいものや形がおもしろいものもあります。そのようなものを今一度見直してみたい。	理念と整合	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○ 植物を使ったプログラム (予定)		
3 再応募	優しいママ	お花を育てて若さと美しさを♪	棚田に咲いたお花を見て癒され元気になって、お散歩を楽しんでいただきたいです。土いじり、育てる側ボランティアに加わっていただくとうれしいです。	理念と整合	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○ 収穫物を活用したプログラム (予定)		
4 再応募	セナちゃんの花畑	花と輪	四季に咲く花を通して皆の集まる場所にしたい	理念と整合	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-			

判定種別	判定内容
合	プログラム採用
否	プログラム不採用(募集条件不適合)
条件付	運営審議会審査時に要確認事項あり(確認後問題無ければ採用)
再審議	

郷の棚田プログラム

受付	グループ名	企画名	開催希望日	希望場所	企画の自己PR	企画内容	備考
1 新規	B&K	はじめての綿づくり	5~11月	②	泉州地域では、綿作りが盛んに行われていましたが、近年全く作られていません。よって見た事の無い人が多い様に思われます。まずは、実際に育て、綿花が出来る過程からたどっていき、「綿の材料ってこういう植物だったのか」ということを知ってもらいたい	5月種まき→7月頃開花→10月下旬刈り取り 6月頃に殺虫など 開花後液肥の散布 9月下旬より順次コットンボールの取り込み	
2 新規	認定NPO法人 緑の地球ネット ワーク	懐かしい花と 作物	4・6・9・11・3月	④	昔は普通にだったけれども、最近みなくなった花や作物もあります。その中には、丈夫で花が美しいものや形がおもしろいものもあります。そのようなものを今一度見直してみたい。	1.ユウスゲのなかまを植えます。透明感のある黄色の花がたくさん咲きます。 2.オシロイバナやタチアオイ、その他を植えます。 3.アワやキビを植えます。古くは重要な作物でしたが、いまでは実際の植物をみた人はまれです 4.その後、苗が育つのを待って、ギボウシ、クリンソウなどを植えます。清楚できれいな花です。 5.上記の花などについての観察や説明、植物遊びを来園者と一っしょに行います。 6.植えつけ作業は午前10時40分ころに開始し、15時までには後片付けも終了します。	中国山西省大同市の農村で1992年から緑化協力を継続しています。単に木を植えるだけでなく、樹木や薬草などの見本園を造ってきました。また国内でも東北の津波被災地、西伊豆町などで地元の団体と協力して海岸林再生などに取り組んでいます。
3 再応募	優しいママ	お花を育てて若さと美しさを♪	4~3月	①	棚田に咲いたお花を見て癒され元気になって、お散歩を楽しんでいただきたいです。 土いじり、育てる側ボランティアに加わっていただけるとうれいです。	コモンマローを引き続き育てて、イベントにつなげたい 秋、コスモス畑を昨年より広げたい 夏、ひまわり 春、水仙他球根の花を咲かせたい	
4 再応募	セナちゃんの花畑	花と輪	4~3月	⑧	四季に咲く花を通して皆の集まる場所にしたい	花を植えて、水やり、肥料etc 春.ストック、スカビオサ、ネモフィラ、チューリップ 秋.コスモス 夏.ひまわり、百日草、マリーゴールドなど	昨年もプログラム実施



持込み型プログラム(棚田プログラム) 応募条件と確認事項について (案)

条件	項目	内容
応募条件	理念との整合 ①景観や環境を大切にする ②みんなで作る ③地域の活性化につながる	<ul style="list-style-type: none"> ●泉佐野丘陵緑地の施設や景観にマッチしている、みんなで自然を楽しめる、環境学習に関するものなど 例: 地域の子供達によるソバの栽培やコスモスの栽培など ●自然の素材やリサイクル素材などを利用したクラフトなど 例: ホウキ草の刈り取りとホウキづくりや綿のクラフトなど ●地域の伝統や公園の魅力を紹介した展示など 例: 伝統農具による栽培や維持管理等等 ●地域の活性化に役立つもの 例: 郷土料理の紹介など <p>【環境】 ・植物、昆虫、野鳥、地形、周辺(音・匂い・光など)への影響について確認</p> <p>【景観】 ・実施場所、適切な維持管理、デザイン、植物の種類などについて確認</p>
	営利を目的としない	材料費の参加者負担は可能
	一般参加ができる	募集団体構成員のみを対象としたプログラムではないこと
	自主的な活動ができる 2人以上の団体	責任をもって実施できる2人以上のグループ 府が募集条件としている項目に自主的に対応ができる。
	関係機関協議(事前協議事項)	<p>火気を使用するプログラム: 消防署届出のうえ、承認が必要となる 直火は都市公園法の禁止事項</p> <p>食品提供: 保健所に届出のうえ、承認が必要となる。また、食中毒対応の保険に加入すること</p> <p>※届出には実施日記入する必要があるのですが、事前協議でも可とするが、最終的には承認必要</p>
確認事項	管理ルールへの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外の使用(早朝・夜間) ・休館日の活動 <p>【展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示が公園管理の支障とならないよう調整する ・展示期間は最長1カ月とする(更新は調整) <p>【夜間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーズン1回程度とし、公園管理に支障がない府が指定する日程とする。
	パーククラブの支援の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・かまど等の施設の使用 ・パーククラブ道具及び機械の使用
	安全性 (火気使用・食品提供を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の使用 ・人員整理 ・駐車場整理
	実施日の調整 他のイベントとの協働	・単独での開催または他のイベントとの連携
	公園の資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の植物(ハーブ・どんぐりなど)の利用 ・公園の土の利用 ・公園の廃材の利用 ・公園の樹木の利用

平成 28 年度郷の棚田の展開について

	平成 26 年度実績	平成 27 年度実績	平成 28 年度予定
実施内容	<p>◆試行実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月～ソバの栽培 	<p>◆郷の棚田プログラムの初募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月～実施 ・ 2 団体が活動 	<p>◆郷の棚田プログラム募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～実施予定 ・ 4 団体が申込み
	<p>◆府直営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コスモスの栽培 ▽開園に合わせて栽培  <p>※8月開園</p>	<p>◆府直営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわりの栽培 ▽泉南支援学校の職場体験依頼によりひまわりの苗づくりの種まき作業を連携   <ul style="list-style-type: none"> ・ ヒガンバナの植栽 ▽棚田の畔に工事により補植 <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※生育不良、粘土質の土壌の課題 ⇒H28年に向けて土壌改良を実施 ⇒大輪会から「耕耘機」の寄贈</p> </div>	<p>◆府直営事業（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府が主体となり地域や学校（保育園、小学校等）と連携 ・ 棚田 2 面で花の栽培を実施 ▽種まきや植付け、刈取りなどのプログラム化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわり（6月～）種まき、植付け ・ コスモス（7月～）直播き ・ そば（9月～）直播き ※連携可能な団体と調整して実施予定 ・ 連携団体がない場合府直営で実施 <ul style="list-style-type: none"> ▽周辺市町村の校舎長会などで連携を依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・ 泉佐野市、泉南市、熊取町など <p>※大規模な棚田を魅力的に演出や活用ができる頑丈な植物を選定して、できる限り省力化して府の管理体制でできる管理方法での実施を検討</p>

持込み型プログラムについて
～えんづくりプログラム実施状況の評価

協議①

H28. 3. 2現在

受付	グループ名	企画名	企画の概要	実施状況						
				実施および実施予定	府の支援	パーククラブの支援	課題	参加者の評価	評価	
新規	南京玉すだれ 一房会喜和一 座	演じる	南京玉すだれ	「竹でできた、玉すだれ、玉の数が50本、糸の結び目が100本、色々な形に変わり、ソレソレソレ」の掛け声できっとお客様に喜んで頂けると信じています。	・4月24日企業の森活動イベント後に「皿回しと南京玉すだれ」上演予定(無料) 予定	郷の館 着替え部屋 腹巻マイク2本 ハンドマイク1本	なし			
再応募	演劇集団・サ ザンボイス	演じる	紙しばい (おこんじよ うるり)	「研修室」が利用できるなら、コントや芝居(プツと笑える題材あり) 「郷の館」利用なら紙しばい「おこんじようるり」 ※お芝居をするなら大道具等のセッティングが必要	・4月16日タケノコ掘りイベント後に「おこんじようるり」上演予定(無料) 予定	郷の館 机1 着替え部屋 目隠しボード4 電源	なし			
					・4月24日企業の森活動イベント後に「おこんじようるり」上演予定(無料) 予定	郷の館 机1 着替え部屋 目隠しボード4 電源	なし			
新規	小柳ラプリー バンド	演じる	新春・小柳 ラプリー ショー	特技を持った者が1つの思いの下に集まり力を合わせてグループを構成し、第2の人生の喜びとボランティア精神で慰問活動の広がりを目指しています。 演目(1)腹話術:僕の交通安全他(2)マジック:お宝箱他(3)ポークール歌唱:心をつなぐ10円玉他(4)ハーモニカ演奏:ハーモニカと一緒に歌おう「ふるさと」他(5)紙芝居:日本昔話他(6)バンド演奏その1:みんなで歌って踊ろう「1月1日・もちつき・河内音頭・炭坑節他」バンド演奏その2:瀬戸の花嫁(ラテン)ベサメ・ムチョ他 タイムスケジュールや各演目の詳細内容につきましては事務局と調整する	・1月9日お正月の郷あそびイベントで「新春・小柳ラプリーバンド」実施(無料)【参加多数】	パークセンター 机2 控室(研修室) 電源	なし	なし	「久しぶりに音楽演奏を聞いた」 など好評 (苦情や悪い感想なし)	
再応募	みどりの風	展示	山野草の展 示	日本の野生ラン等の植物をみんなに知ってもらいたい。大切に育てている季節の花を順番にパークセンターの一角で展示を行いたい。展示する植物は1週間ごとに交換する予定。	・3月から1カ月更新で実施に向けて調整					
再応募	hanairo	ものづくり	「暮らしを楽しむ ～アロマ& ハーブ Lesson～」	身近な植物の力をかりる事で、暮らしを一段と楽しめたり、美容と健康のセルフケアが出来る事をお伝えし、実際に植物を利用する方法や生活に取り入れる方法を提案します。アロマに関する講座のあとアロマの手湯やアロマのクラフト(柔軟剤やせっけん)づくりを行います。						
再応募	アトリエ彩の実	ものづくり	枝を使って 織物オブ ジェを作る	泉佐野丘陵緑地で伐採した木の枝にタテ糸を張り、毛糸などヨコ糸を通して小さな織物オブジェを作るワークショップ。枝が使えなければ、ボール紙などで代用して違う形の織物にします。色々な種類の羊毛をさわってもらったり、ウールの特長についてレクチャーする時間も設ける予定。	・3月19日に「公園の小枝と毛糸を使って織物を作りましょう！」募集中(500円・限定15名)【名参加】	剪定枝の運搬 研修室 はさみ	ウメ等の剪定枝			
新規	大阪木登り隊	体験	七十八・六 七米を超え ろっ!	日頃と違った視点の樹木より「えん」の風景や樹木を体験します。目標は、標高78.67メートル越え。方法は樹上体験専用のロープやハーネス(安全帯)などの道具を利用し、樹上の世界へどうぞ	・3月20日現地打合せ予定		使用する樹木の確 認			
新規	大阪府立大学 歩いてワクワ ク	体験	Waku Waku + Walk(わく わくうお～)	※プログラムをとおして来園者に伝えたいこと。泉佐野丘陵緑地の周辺地域や公園内を歩きながら、地域の歴史や自然を学ぶとともに参加者同士の交流を図ることで「公園は皆で集まる交流＝えんづくりの場」であるという公園のコンセプトを理解してもらうことを目的とする。「人と人のえん」だけではなく、「公園とのえん」や「地域とのえん」も意識しながら、「また来たい」、「また会いたい」、さらには「自分もこの公園をつくることに携わりたい」というような気持ちを抱いて頂くことを目指します。(パークレンジャーへの勧誘を行い、一人でも多くレンジャーになって頂けることが最終の目標です)	・1月10日に「Waku Waku + Walk」実施(無料・限定20名)【2名参加】	日根野での参加者確 認 緊急時の車を待機 研修室	公園の案内 地域の案内の補 助	参加者の確保	「楽しい時間を過ごすことができた」、「日常では目にすることができない景色が見れた」など好評 改善のご意見として「寒かった」、「参加人数が少ない」などがあったものの苦情等はなし	
新規	大阪府立大学 夜空の愛好会	体験	天然プラネ タリウム	対象:中学生以下の子供とその家族 子供たちに対しては普段感じることでできない夜の公園の静寂さや星空などの自然の魅力に心躍らせてもらいたい。親世代に対しては、夜の公園の静けさにふれて頂くことで、しっとりと日頃の心を癒し、落ち着いた時間を過ごして頂きたい。これらの非日常的な体験を通じて、自然の持つ魅力を感じてもらい、日常的に公園を利用してもらうようになってもらいたい。	・1月10日に「天然プラネタリウムk」実施(200円・限定20名)【14名参加】	消防への届出 机 照明 郷の館・研修室 プロジェクター一式 夜間の誘導	豚汁調理・衛生指 導 カマド使用指導 ドラム缶による暖 提供	参加者のえんづくり プログラムに対す るご理解と企画者 のレベルアップ	「豚汁がおいしかった」「火おこしが楽しかった」、「星座の説明がわかりやすかった」などほぼ全員が好評であった 改善のご意見として「星を見ながらの説明がもっとほしい」「資料があればよかった」などがあったものの苦情はなし	

評価種別	評価内容
良好	次回申請可
要改善	条件付きで次回以降申請可
不可	次回申請不可

公園の愛称決定!

えん+公園
(えんぱく or えんパーク)

こんなコト
してみたい!

大阪府営泉佐野丘陵緑地

えんづくりプログラム募集

泉佐野丘陵緑地では、公園を舞台にした※コトを企画し
来園者に向けて楽しいイベントなどを
提供してくれるグループ（2名以上）を募集しています。

※施設や建物などの「モノ」に対して、泉佐野丘陵緑地で行われる人々の活動や交流などを「コト」と呼んでいます。

えんづくりプログラムは、みなさんが企画したプログラムを来園者に提供していただくものです。泉佐野丘陵緑地を舞台に演奏会、作品展示やクッキングなど、あなたの技やアイデアで、公園の環境・施設を来園者に楽しんでいただくためのプログラムを実施してみませんか？

実施するプログラムは、事務局が実現に向けて積極的にサポートします！

泉佐野丘陵緑地の施設や備品の貸し出し、水道・電気の使用、並びに府が実施する広報への掲載等について協力します。



※写真はイメージです

募集について

- 募集：平成28年7月1日（金）から平成28年12月28日（水）までに実施を希望するプログラムの企画
※泉佐野丘陵緑地のイベントにも参加できます。（H28.10.22 秋の郷あそび など）
- 応募方法：所定の企画申込書に必要事項を記入の上、提出してください。
- 受付期間：平成28年4月30日（土）15:00までに提出・必着
- 受付場所：泉佐野丘陵緑地パークセンター（FAX、メール、郵送可）
※必ず電話で到着しているかを確認してください。
- 企画の審査：企画内容は5月の泉佐野丘陵緑地運営審議会で審議。（企画が承認されない場合もあります。）
- 審査の基準：
 - ・プログラム内容が公園の次の3つの理念と整合したものであること。
 1. 景観や環境を大切にする
 2. みんなでつくる
 3. 地域の活性化につながる
 - ・営利目的（必要最低限の材料費負担は可）ではないこと。
 - ・一般参加ができること。
 - ・自主的な活動ができる2名以上のグループであること。（プログラムの企画、運営、安全確保等の必要な対策ができること。）
 - ・火気の使用及び食品提供する場合は、関係機関との協議が必要となるため事前に事務局と協議をすること。
- お問い合わせ：泉佐野丘陵緑地 パークセンター
住所：大阪府泉佐野市上之郷90番地
URL：<http://izumisano-kyuryo.jp/>（企画申込書はホームページからダウンロードできます）
Email：kishiwadadoboku-g17@sbox.pref.osaka.lg.jp
電話：072-467-2491 fax：072-467-2493
開館時間：9:30~17:00
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

泉佐野丘陵緑地 えんづくりプログラム
企 画 申 込 書

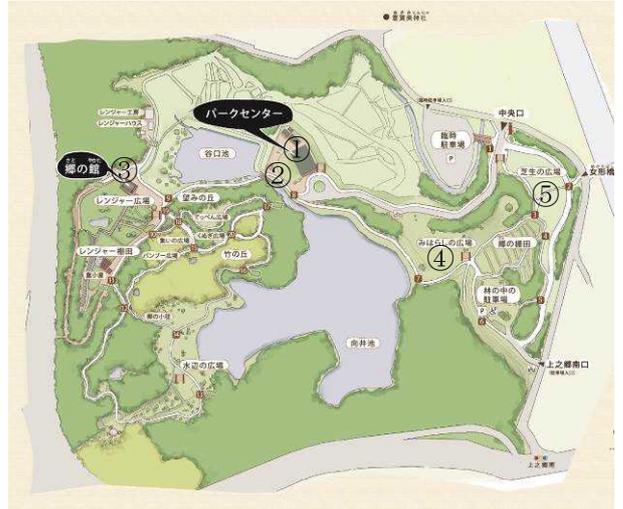
ご記入の上、パークセンター持参、郵送、FAX、Email のいずれかにて
お申し込みください。

※事務局欄
No.

受付期間：2016年●月●日（●）から4月30日（土）必着

※グループの代表者は必ず18才以上の方でお願いします

グループ名	グループ名がある場合はご記入ください			住所	〒	-
ふりがな 代表者名						
連絡先	TEL () -	携帯 () -				
	FAX () -	Eメール	@			
企画名	【参考】・・・泉佐野丘陵緑地平面図					
希望 開催時期	平成 年 月 日					
開催場所	(希望する施設名を○で囲んでください) ①パークセンター内 ②パークセンター前広場 ③郷の館 ④みはらし広場 ⑤芝生広場 その他 ()					
企画の 自己PR	※プログラムをとおして来園者に伝えたいこと。					
企画内容	※内容は具体的に記入してください。(別途詳細な企画書がある場合は、添付してください) ※タイムスケジュール(公園での準備～開催～後片付けまで)も合わせて記入してください。					
	該当する場合は○をしてください	火気使用	機械の使用	食品の提供		
備考	※同様の活動実績等があれば記入してください。					



※ご記入いただいた情報は、本プログラムの審査を目的とすること以外に使用しません。

お申し込み・お問い合わせ先

大阪府営泉佐野丘陵緑地 パークセンター 〒598-0024 泉佐野市上之郷 90 番地 TEL : 072-467-2491 FAX : 072-467-2493

Email:kishiwadadoboku-g17@sbbox.pref.osaka.lg.jp ホームページ : http://izumisano-kyuryo.jp/

毎週月曜日休館日(※祝日の場合翌日) / 開館時間 9:30 から 17:00